

おめでとうございます

令和四年 秋の叙勲・褒章

瑞宝単光章

門馬隆行さん

(78歳・中野)



門馬さんは相馬市出身。昭和47年に消防団に入団し、令和2年まで消防団活動に従事。

消防団分団長を務めるなど、48年にわたり、市の防火防災に貢献しました。

(門馬さんのひと言)

先輩や後輩、地域の皆さん、そして家族に支えられながら活動続けることができました。このような名誉ある章をいただき本当にありがたいです。

藍綬褒章

小畑強子さん

(70歳・中村)



小畑さんは宮城県古川市(現大崎市)出身。平成15年から調停委員に従事。

民事・家事調停で、当事者の問題解決に向けて尽力しています。

(小畑さんのひと言)

今後も調停委員として、当事者の考えや思いを傾聴し、丁寧かつ真摯(しんし)に向き合って、解決に向けた手助けができるように努めていきます。

青少年健全育成
に尽力市少年
センター補導員

県青少年健全育成条例第13条に基づく知事表彰および県青少年育成県民会議会長表彰受賞報告は11月25日、市役所で行われ、市少年センター補導員の高山克男さんと荒井美紀子さんが訪れました。

同賞は、常時または定期的に継続して青少年健全育成に係る活動をしている個人に贈られるもので、福地憲司教育長はその功績をたたえました。※市少年センターは、オレンジ色の補導ベストを着用し、子どもの声掛けや公園の巡回などを行っています。



経営改善の取り組みなどが評価

合同会社飯豊ファーム

合同会社飯豊ファームによる

受賞報告は11月21日、市役所で行われ、竹澤一敏代表社員ら3人が訪れました。

同社は、被災農地を集約し、大豆や小麦、ブロッコリーなどの作付けによる経営改善に取り組んでいることなどが評価され、令和4年度全国優良経営体表彰経営改善部門全国担い手育成総合協議会会長賞を受賞。

報告を受けた立谷市長は、受賞をたたえました。

農地等利用最適化推進施策に関する
意見書を提出市農業委員会

市農業委員会による意見書の提出は11月15日、市役所で行われ、前川正人同委員会会長ら4人が訪れ、立谷市長に「農地等利用最適化推進施策に関する意見書」を手渡ししました。

意見書は、米価下落および農業用資材などの高騰に対する支援など、市の農業を取り巻く緊急の課題を5項目にまとめたもので、意見書を受け取った立谷市長は「対応できる点と難しい点があるが、今

後の政策に反映させていきたい」と述べました。



練習の成果を披露 相新音楽祭

第62回相馬・新地地区小・中学校音楽祭は11月16日、市民会館で開かれ、両地区17校の児童・生徒が参加し、練習の成果を披露しました。

市教育委員会などが主催。演奏は午前の部、午後の部に分けて行われ、各校が次々とステージで合奏や合唱などを披露し、参加した児童らは、互いの堂々とした演奏に大きな拍手を送り合いました。



災害時の調理方法を学ぶ

磯部小・中学校炊き出し訓練

磯部小・中学校合同の炊き出し訓練は11月17日、磯部中学校で行われ、全児童・生徒



45人が参加しました。

訓練は、災害で飲料水などが十分に確保できない場合などに安全・迅速に食事を用意する方法を学ぶために実施。児童・生徒らは、水を節約するためにポリ袋を使用してカレーライスを作り、災害時の制限された条件下での調理を学びました。

また、校庭では、保護者などの協力のもと、「一斗缶」を使った野外調理に挑戦し、火加減などに苦労しながら豚汁などを完成させました。

全国大会出場を報告

中一小器楽部

中村第一小学校器楽部による全国大会出場報告は11月17日、市役所で行われ、同部員17人が訪れました。

同部は、日本学校合奏コンクールソロ&アンサンブルコンテスト2022の録音審査の結果、全国大会の出場資格を獲得。

報告を受けた阿部勝弘副市長は、児童らを激励しました。



看護の道への決意新たに

相馬看護専門学校戴帽式

相馬看護専門学校戴帽式は11月10日、同校で行われ、22期生40人が看護師として新たな一歩を踏み出しました。

戴帽生は一人ずつナースキャップを被せてもらい、ナイチンゲール像のキャンドルから自分のキャンドルに火を灯し、ナイチンゲール誓詞を唱和しました。

式で、戴帽生代表の佐藤七海さんが、誓いのことばを述べました。



親子の絆を深める

みんなで子育てワイワイショップ

みんなで子育てワイワイショップは11月20日、総合福祉センターで開かれ、親子ら約230人が訪れました。

当日は、ステージでダンスが披露され、会場の親子らが楽しく踊ったほか、手作りの輪投げなどのおもちゃで自由に遊べるコーナーや、ヨーヨー釣り、エコこうさくなどが楽しめる「お店屋さんで遊ぼう」コーナーが設けられ、訪れた親子らは、各コーナーを回り工作やゲームをして楽



しい時間を過ごしていました。

寄付ありがとう

▽明治安田生命
保険相互会社

明治安田生命保険相互会社
による寄付は11月18日、市役
所で行われ、佐藤力也同社い
わき支社長ら4人が訪れまし
た。

同社が取り組む「地域の元
気プロジェクト」の一環とし
て、令和4年福島県沖地震で
被災した地域の復興支援のた
め、本市に寄付を行うもの。
寄付を受け取った立谷市長
は「寄付ありがとうございます。
地震被災に対する復興の
ため大切に使用させていただきます」と感謝の言葉を述べま
した。

▽福島県LPガス
協会相双支部

福島県LPガス協会相双支
部による寄付は11月21日、市
役所で行われ、松本卓真青年
委員長と米山真弘副委員長が
訪れました。

同協会相双支部は、10月30
日に開催されたそうま市民ま
つりでの売上の一部を、市の
防災事業への支援として寄付。
寄付を受け取った阿部勝弘
副市長は「市民まつりへの協
力ありがとうございます。使
いただいた寄付金は大切に使
わせていただきます」と述べ
ました。

晩秋の山開き
塩手山登山

塩手山の山開きは11月23日、
同山登山道入口で関係者ら34
人が参加し、開催されました。
令和3年度と同様、新型コ
ロナウイルス感染症の感染拡
大防止や登山道に向かう茄子
小田橋の復旧工事の影響のた
め、関係者のみで実施。

当日は、荒一信塩手山山開
き実行委員会実行委員長の山
開き宣言を皮切りに登山を開
始。
参加者らは、小雨の降るな
か頂上まで登り、心地よい汗
を流しました。



協力してバームクーヘンを作ろう

中央公民館子ども教室

中央公民館子ども教室
「バームクーヘンづくり」は
11月26日、同公民館で開催さ
れ、市内の小学生17人が参加
しました。

バームクーヘンづくりは、
屋外で炭火と竹を使って行わ
れ、参加した子どもたちは、
生地の焼き加減に応じて竹を
回す早さを調整するなど工夫
をしながら、みんなで協力し
てバームクーヘンを完成させ
ました。

全身を使って歩く中央公民館
「ノルディックウォーキング講座」

中央公民館「ノルディック
ウォーキング講座」は11月27
日、同公民館などで開催され
市民12人が参加しました。

参加した人たちは、講師の
嶺岸昭さんからボールの使い
方や歩き方などの説明を受け
た後、実際に中村城跡から宇
多川沿いを巡る約5キロメー
トルのコースを歩いて、ノル
ディックウォーキングを体験
しました。

仲間と共に全力で完走

市子ども駅伝競争大会

第10回相馬市子ども駅伝競走大会は11月26日、市内の馬



陵通りで行われ、幼稚園・保育園の園児から小学生までの20チーム112人が参加しました。開会式で阿部勝弘副市長が選手たちを激励し、ワラガイRC・Aチームの若林遥空さんが力強く選手宣誓しました。大会は、馬陵通りの市民会館前をスタート・ゴールに、6つの部門に分かれて行われ、子どもたちは保護者らの声援を受けながら、チームの仲間と共にタスキをゴールまでつなぎました。

タスキに思いを込めて

ふくしま駅伝相馬市チーム結団式

第34回ふくしま駅伝に出場する相馬市チームの結団式は11月12日、市民会館で行われ、選手ら16人が出席しました。

式で、チームを代表して早田洋平選手が「チーム一丸となって、昨年より上の順位を目指したい」と大会への抱負を述べました。

※大会は、11月20日に開催され、昨年の43位から大幅に順位を上げ26位となり、敢闘賞を受賞しました。



市民の力作が そろそろ

市総合美術展



市総合美術展は12月2日～4日の3日間、スポーツアリーナさうまで開催されました。

市、市教育委員会、市文化団体連絡協議会の主催で、一般の部5部門（絵画、彫塑、工芸、書、写真）の241作品、幼児・児童の部2部門（書写・造形）に734作品を展示。同展には、多くの市民らが訪れ、個性豊かな力作を鑑賞していました。

豊かな発想力をたたえる

県発明展受賞報告

展」へ出品されます。

第68回福島県発明展受賞報告は11月30日、市役所で行われ、星健一さんと稲垣羽南さん（桜丘小6年）の2人が訪れました。

星さんが第1部（一般の部）で特選、稲垣さんが第2部（小学校、中学校、高等学校の部）で入選をそれぞれ受賞しました。

稲垣さんの作品は、令和5年3月に開催予定の「第81回全日本学生児童発明くふう



東北大会出場報告

相馬高校相馬太鼓部

市芸術文化奨励金交付式は12月5日、市役所で行われ、

相馬高等学校相馬太鼓部の佐々木優花部長と阿部修英副部長が訪れました。

同太鼓部は、9月25日に須賀川市で行われた第25回日本太鼓ジュニアコンクール福島県支部大会で第3位に入賞し、県代表として11月27日に岩手県一関市で行われた第11回東北太鼓ジュニアコンクールに出場し、特別賞を受賞。

報告を受けた福地憲司教育長は、ねぎらいの言葉を贈りました。

津波災害への防災体制の向上を

市津波避難訓練



市津波避難訓練は11月18日、尾浜松川地区および岩子地区を対象に実施されました。

岩子地区では、大津波警報を知らせる防災無線の放送後、約30人の住民らが長命寺に避難し、自宅から避難場所までの時間やルートを確認したほか、市職員から災害への備えや定期的な防災訓練の重要性について説明を受け、津波への防災意識を高めていました。

事業者支援を要望
相馬商工会議所

11月28日、草野清貴相馬商工会議所会頭ら6人が市役所を訪れ、立谷市長に要望書を手渡しました。

要望は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって売上が減少している事業者への支援や市街地のにぎわい創出による地域活性化などを目的とするもの。

要望書を受け取った立谷市長は「財政状況を検証しながら、慎重に検討したい」と述べました。

みんなで就労
支援を応援

福祉事業所合同販売会



市福祉事業所合同販売会・就労支援相談会は12月6日・7日、市役所で行われ、約300人の市民らが訪れました。

販売会には市内就労継続支援事業所のミッキーズ・ハウス、工房もくもく、スマイルセンター、きぼうのあさがお、自立研修所ビーンズ、アルファワークスのほか、県立相馬支援学校が参加し、訪れた人たちが交流しながら買い物を楽しんでいました。

流域治水の推進に向けて

県流域治水シンポジウム

福島県流域治水シンポジウムは11月27日、総合福祉センターで開催され、約100人の市民らが参加しました。

当日は、長林久夫日本大学名誉教授などを講師に迎えた基調講演のほか、「相双方部のこれからの流域治水の推進に向けて」と題したパネルディスカッションが行われ、阿部勝弘副市長が市の流域治水の取り組みなどを説明しました。

YouTube 相馬市
チャンネルからのお知らせ

トピックスの一部は、市公式 YouTube チャンネルで動画を公開しています。下記の QR コードからアクセスし、ご覧ください。

▽みんなで子育て
ワイワイショップ



▽塩手山登山



▽子ども駅伝
競争大会

